

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 28 年 11 月 8 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
宮城県立がんセンター	
企画名	
緩和ケア週間	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
企画予定について2週間前からポスターを提示しました。希望の木作成については依頼文を提示し、主旨に賛同してくれた患者さん・家族、病院スタッフに願いを記入していただきました。	
当日の実施内容について	
日時(期間)	平成 28 年 10 月 3 日(月)～10月7日(金)
実施場所	がんセンター内ロビー、ギャラリー、大会議室
参加人数	約 120 名
具体的な実施内容： ・ポスター展示：世界ホスピス緩和ケア週間・緩和ケア週間について、緩和ケアとは、緩和ケアセンター、緩和ケアチーム紹介、緩和ケアリンクナース紹介、希望の木 ・緩和ケア内科医師によるミニ講演会、緩和ケア病棟紹介(DVD上映) ・がん看護専門看護師による相談コーナー ・音楽療法士による音楽療法 ・職員向け特別講演：講師 臨床宗教士 高橋悦堂「スピリチュアルケア」	
効果について(アンケートの結果など)	
展示物は多くの方が足をとめて読んでいただき、中には写真を撮っている方もいました。希望の木の願いごとには「自分らしく生きたい」「1日でも長く家族と一緒に笑顔で生活できますように」「痛みがなく夜眠れるといいな」等多数の願いが集まりました。イベントに参加された方のアンケートでは「まだまだ緩和ケアについて誤解している人が多いため、もっと多くの人に知って欲しいと思った」「音楽を聴いて涙が出た。癒されました」との声が聞かれました。職員アンケート結果は、緩和ケアに対する理解が深まった・少し深まったと回答したスタッフが80%以上で、理解を深める機会となりました。	
その他報告	
緩和ケア週間の企画は緩和ケアリンクナース会が中心となり、緩和ケアチームや緩和ケアセンターの協力を得て実施しました。	

※公式ホームページ(緩和ケア.net)への掲載について

(掲載してもよい) ・ 掲載しないでほしい)

